# 令和4年度補助金·負担金調書

No. 💥

1	担当課	秘書課	室・部・局	市長公室	予算事業コード	

## 1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

 ①補助金等の名称	即市	融昌石助:	会事業補助	소		補	0	(1)一般補	助金(団	団体等への補助	]金など)		
(1)開助並寺の石が	大  川	概貝	<del>女 学 木</del> 洲 功	317		助		(2)事業補助	金(団体等	等事業に対する補	助金など)		
②支 出 の 根 拠	胆士	一种品方品	会事業補助	<b>全さ</b> に	+ 亜 郷	金		(3) 一般負担金(団体等への負担金					
②又山 切 根 拠	<del> </del>	概貝互切:	<b>女</b> 争未ભ功	亚义的	女們	の		(4)事業負担	金(団体等	等事業に対する負	担金など)		
③支 出 先	88士	·뻗무도마	Δ.			分 類		(5)個人に	対する	る補助金・負	担金		
③支 出 先	判叩	職員互助:	云			双		(6) その他					
④国・県の負担	Oな	- 1	国の負担	あり	負担割合			負担額	頁		千円		
伊国・泉の貝担	0/3		県の負担	あり	負担割合			負担額	頁		千円		
	対	象会員(	(職員)							に対して			
⑤支 出 の 目 的	手	段福利厚	を行うこと	で									
	受益	者 会員 (職員)											
	意	図心身の	リフレッシ	ノユ、『	職場のコミュニ	ケーシ	∕∃:	ンの向上を	図る	という状態	にする		
⑥期 間	R	4 年 4	月 1 日	~ R	5 年 3 月	31 日	補具	カ・負担開始:	F度 昭	和 31	年度		
⑦事 務 局 体 制	0	主に市の	担当課		主に支出先団体			その他	(		)		
⑧構成員の負担		負担なし		0	負担あり		負担	額給与	月額	あたり <mark>0. 45%を1</mark>	2月 円		

#### 2 実績(見込み) 【DO】

	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	0	補助・負担率を定めている→補助率 1/2↓	<b>以内</b>		
①補助・負担金 の額(千円)	178	128	156	1, 307		単価を定めている→算式			
<b>97</b> (111)		120		1, 307		定額補助・負担 その他 (	)		
②過去における 見直し状況	・平成16年度の見直しにより、補助金の額を大幅に減額した。 ・関市職員互助会事業補助金交付要綱(平成27年4月1日施行)を制定し、補助金交付の根拠を明確にした。								
	R4歳入決算	算額 5	<mark>, 909</mark> 千円	R4歳出決	算額	5,909 千円 翌年度繰越額 (	千円		
の状況	R4歳入に占め	る補助・負担	金の割合	2.6 %		決算額を把握していない			

### 3 事後評価 【CHECK】

	亚压古口	センヨートで 一本	七十二の書品		
	評価項目	担当課による評価	担当課の課題		
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	職員の福利厚生制度として必要かつ		
UXII	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	妥当である		
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	事業の実施内容を把握し、適切な運営		
<b>②</b> 劝平II	支出額・補助・負担率は適正か	適正	を維持している		
	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	職場におけるコミュニケーションを向 上させるうえで有効である		
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	現状のままで推移			
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	影響は大きい			

## 4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性	0	1 現状のまま継続		2補助・負担内容を見直す		3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4 統合を検討		5終期を設定		6休止・廃止を検討
		の福利厚生制度として必 維持をしていきたい。	要な事	<b>事業であるため、今後も事</b>	業の	実施内容を確認し適切な

# 令和4年度補助金·負担金調書

No. 💥

						-
担当課	秘書課	室・部・局	市長公室	予算事業コード	100620	

## 1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市	融昌	関市職員自主研究活動費助成金							(1) –	−般補助釒	金(団	団体等への補助金など)		
	יוינאו	柳只	<u>п</u> т,	<b>グレプロ 3/13</b>	<b>Z</b> 191190.3	<u>17.</u>		補 助		(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金なる					
②支 出 の 根 拠	問本	中日	白土耳	研究活動3	5.控 西 3	PI		金		(3) –	-般負担金	金(団(	体等への負担金など)		
②又山 切 根 拠	ון ואַן	- 収貝	日工児	川九/白野)	义扳女师	lm]		のハ		(4)事	業負担金([	団体等	事業に対する	る負担	⊒金など)
③支 出 先						岡第3条の規定	i.	分 類		(5) 個	固人に対	する	補助金・	負担	金
<b>③又                                    </b>	よる	よる届出のある自主研究グループ								(6) ₹	その他				
④国・県の負担	Oな	· I		国の負担	きあり	負担割合				1	負担額				千円
4 国・宗の貝担	0 %			県の負担	きあり	負担割合				1	負担額				千円
	対	オ 象 市職員有志で構成する自主研究グループ (										に対して	•		
⑤支 出 の 目 的	手	段援	市政に関する諸課題についての自主的な研究活動の奨励及び支 援									を行うこ	-ع.	で	
	受益	者市	<b>市職員、市民</b>									が(を)			
	意	図の	職員の自己・相互啓発意欲の高揚を促進し、市政への参画意欲と職員 の資質の向上を図るとともに、その成果を市政に反映させる という状態に										こする		
<b>⑥期</b> 間	R '	4 年	4	月 1 日	∃ ~ R	5 年 3 月	3	1 日	補助	か・負担	旦開始年度	平原	戈 29	4	年度
⑦事 務 局 体 制		主に	市の	担当課	0	主に支出先団 <sup>ん</sup>	本			その	の他 (				)
⑧構成員の負担		負担	なし			負担あり		1	負担	額		<b>5</b> 7	たり		円

#### 2 実績(見込み) 【DO】

	R2決算	R3決算	I R4決算 R5予算			補助・負担率を定めている→補助率			
①補助・負担金 の額(千円)	11	41	30	500		単価を定めている→算式			
<b>97</b> (111)	11	41	30	500		定額補助・負担 ○ その他 ( 助成金上限100千円/団体 )			
②過去における 見直し状況	平成30年度に、助成金の上限を50,000円→100,000円に見直し。								
③支出先の決算	R4歳入決算	算額	千円	R4歳出決	算額	千円 翌年度繰越額 0 千円			
の状況	R4歳入に占め	る補助・負担	金の割合	%		決算額を把握していない			

### 3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
少女当任	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
乙刈平江	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
	補助・負担の目的は達成できているか	達成には至っていないが促進されている	
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	研究活動の幅が狭まる可能性がある	

## 4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性	0	1 現状のまま継続		2補助・負担内容を見直す	0	3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4統合を検討		5終期を設定		6休止・廃止を検討
②課 題	「1⑤ 決算·		主研究 小し	スグループの自発的な立ち上 ても問題はないと考えられる		